

巣箱で営巣したキバシリ

森野正弘¹

キバシリは木の割れ目などに皿型の巣をつくることが知られているが、1987年5月上旬に長野県戸隠で巣箱に営巣したものを写真に撮ることができたので報告する。

場所は、長野県戸隠村戸隠森林植物園内のみどりが池から歩道を約100m程歩いたところで、歩道から約5m位入ったところの木にかけられた巣箱で営巣していた (Fig. 1)。巣箱は樹上約5mにあり、南西向きにかけられていた。キバシリは朝8時頃から約1時間の間に10回程食物を運んできた。ヒナは大分大きいようで、食物をねだる声もよく聞こえた。1度、ヒナの糞らしいものをくちばしでくわえて運び出して行った。ヒナの羽数は不明。撮影は5月5日に行なったが、7日には巣立ったらしい。

10日には、そこから約150m程離れた所で数羽のキバシリを、17日にはさらに200m程離れた所で4羽程のキバシリを観察した。ただし、同一群かどうかは不明である。

1. 〒381 長野市北堀421-12

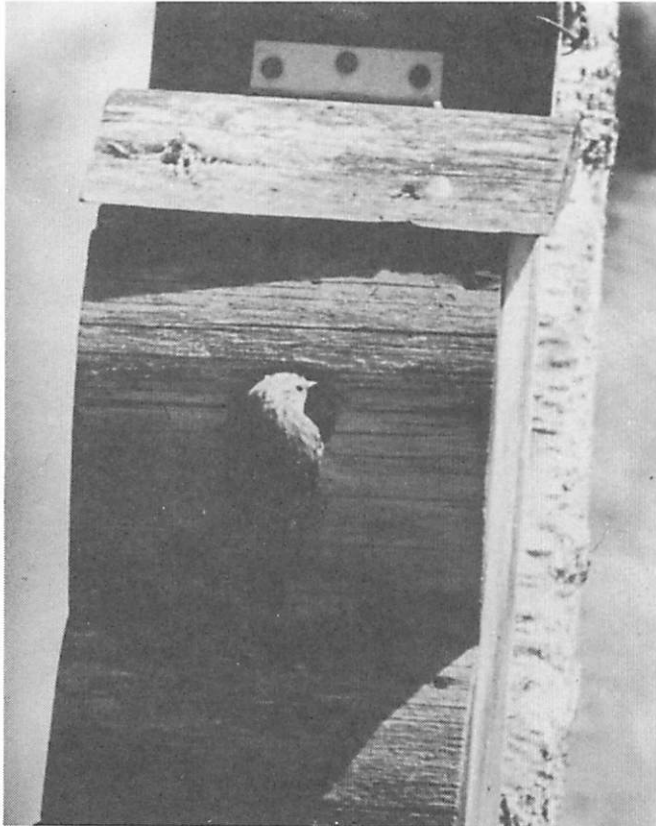


Fig. 1. A Treecreeper perching at the entrance of the nestbox.

A record of the Treecreeper nesting in a nestbox

Masahiro Morino¹

A pair of the Treecreeper *Certhia familiaris* bred in a nestbox in Togakushi, Nagano Prefecture, central Honshu. The young fledged in early May.

1. Kitabori 421-12, Nagano-shi, Nagano 381

1989年11月10日受理